



2022年7月27日

各位

会社名 株式会社 N o . 1
代表者名 代表取締役社長 辰巳 崇之
(コード番号：3562 東証スタンダード)
本社所在地 東京都千代田区内幸町一丁目5番2号
問合せ先 取締役グループコーポレート本部長 久松 千尋
電話番号 03 - 6735 - 9979

**オフィス用品通販事業（アスクル代理店事業）の譲渡契約締結
及び特別利益の計上並びに2023年2月期通期業績予想修正に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、2022年8月31日を以って、株式会社ハイパー（以下、ハイパー社、本社：東京都中央区、代表取締役社長：望月 真貴子）へ、オフィス用品通販事業（以下、アスクル代理店事業）を譲渡する事業譲渡契約を締結することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本契約に伴い当期業績への影響予想額が判明し、「2023年2月期 第1四半期決算短信」（2022年7月15日付）にて公表しました通期業績予想を修正いたします。

記

I. オフィス用品通販事業（アスクル代理店事業）の譲渡契約締結

1. 事業譲渡の理由

当社は、「日本の会社を元気にする一番の力へ。」を経営理念に掲げ、情報セキュリティ商品販売事業、OA 機器関連商品販売事業、経営支援サービス事業、アスクル代理店事業などを中心に、中小企業へのソリューション営業に特化してまいりました。

一方で、2020年には、情報通信機器の企画開発・製造・販売等を行う、株式会社アレクソンを完全子会社化し、卸売業からより収益性の高い製造卸売業へとビジネスモデルを変革してまいりました。また、同年に、サブスクリプションモデルのコンサルティングサービスとして「No.1 ビジネスサポート」の提供を開始し、ビジネスコンサルタントの増員を行ないつつ、サービスラインナップの追加に注力することで、安定収益の増加に取り組んでまいりました。

このような中、かねてより当社と取引があったハイパー社と慎重に検討を重ねた結果、長年にわたりアスクル代理店事業を展開している同社にアスクル代理店事業を譲渡し、当社においては、新中期経営計画の達成や中長期的な企業価値向上に向けたより重要な事業へ、経営資源を集中することが適切と判断いたしました。

2. 事業譲渡の概要

(1) 譲渡事業内容

当社が運営するアスクール代理店事業を対象といたします。

(2) 譲渡事業の経営成績

| | 対象事業 (a) | 2022年2月期実績 (b) | 比率 (a/b) |
|-------|-----------|----------------|----------|
| 売上高 | 1,654 百万円 | 13,919 百万円 | 11.9% |
| 売上総利益 | 86 百万円 | 5,720 百万円 | 1.5% |
| 営業利益 | 40 百万円 | 853 百万円 | 4.7% |
| 経常利益 | 40 百万円 | 875 百万円 | 4.6% |

(3) 譲渡事業の資産、負債の項目及び金額

譲渡事業の資産、負債はありません。

(4) 譲渡価額及び決済方法

譲渡価格 300 百万円

決済方法 現金決済

3. 相手先の概要

| | | |
|--------------------|------------------------------------|-------------|
| (1) 名称 | 株式会社ハイパー | |
| (2) 所在地 | 東京都中央区日本橋堀留町2-9-6 ニューESRビル | |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 望月 真貴子 | |
| (4) 事業内容 | 通信機器、事務機器、オフィスオートメーション機器の販売及び設置・保守 | |
| (5) 資本金 | 567,326,446 円 | |
| (6) 設立年月日 | 1990年5月18日 | |
| (7) 純資産 | 3,363 百万円 | |
| (8) 総資産 | 6,833 百万円 | |
| (9) 大株主及び持株比率 | ララコーポレーション株式会社 | 24.02% |
| | 玉田宏一 | 13.34% |
| | エプソン販売株式会社 | 7.13% |
| (10) 上場会社と当該会社との関係 | 資本関係 | 該当事項はありません。 |
| | 人的関係 | 該当事項はありません。 |
| | 取引関係 | 仕入取引があります。 |
| | 関連当事者への該当事項 | 該当事項はありません。 |

4. 日程

| | |
|-------------|------------|
| (1) 取締役会決議日 | 2022年7月27日 |
| (2) 契約書締結日 | 2022年7月27日 |
| (3) 事業譲渡日 | 2022年8月31日 |

5. 特別利益の計上

事業譲渡価額 300 百万円を譲渡益として特別利益に計上見込みであります。

6. 今後の見通し

当期の通期業績に与える影響は、特別利益が発生するため、事業譲渡益（300 百万円）を計上することになりましたので、連結業績を修正するにいたしました。詳細に関しましては、「Ⅱ通期業績予想の修正」に記載される以下のとおりであります。

Ⅱ. 通期業績予想の修正

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2022年3月1日～2023年2月28日）

本件の実施に伴い、「2023年2月期 第1四半期決算短信」（2022年7月15日付）にて公表しました通期業績予想を以下のように修正致します。

| | 連結売上高 | 連結営業利益 | 連結経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり連結当期純利益 |
|--------------------------|---------------|------------|------------|-----------------|--------------|
| 前回発表予想（A） | 百万円 12,094 | 百万円 980 | 百万円 968 | 百万円 589 | 円 銭 90.00 |
| 今回修正予想（B） | 12,094 | 980 | 968 | 771 | 117.72 |
| 増減額（B－A） | 0 | 0 | 0 | 182 | 27.72 |
| 増減率 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 31.0% | 30.8% |
| （参考）前期連結実績 （2022年2月期） | 13,919 | 853 | 875 | 531 | 81.23 |

※ 上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

※ 「（参考）前期連結実績」は「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第 29 号）等を適用する前の数値となり、「前回発表予想（A）」及び「今回修正予想（B）」は当該会計基準等を適用した後の数値となります。

2. 修正の理由

当社と株式会社ハイパーとの間で本日締結いたしました事業譲渡契約により、特別利益が発生し、事業譲渡益を計上することになりました。この影響により親会社株主に帰属する当期純利益を、前回発表予想より 182 百万円増の 771 百万円に修正いたします。

以 上